

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「地域の人に支えられ歩んで行こうゆうゆうで」という理念を職員間で考え玄関に掲げている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>「入居者が、職員と共に楽しみを持ち、自分らしく暮らせるホームを目指します」 わかりやすい言葉で、新たにホームとしての理念を作り、これから職員全員が実現に向けて取り組んで行く。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>理念はホームの玄関に掲げ、広報誌には掲載している。</p>	<p>印 (取り組んで いきたい項 目)</p> <p>ホームページは現状では進んでいないが、今後載せていきたい。運営推進会議でも理解してもらえよう、伝えたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域の方に畑での野菜作りに関わっていただいたり、自宅で収穫した野菜をいただくなどの関係作りができています。併設施設利用者の訪問、民生委員、敬老会の方々の訪問などがあり、管理者や職員は入居者共々楽しい時間がすごせるよう努めている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>職員は、地区の清掃奉仕作業に年2回参加している。地域のボランティアにより、習字教室、紙芝居、蓄音器貸出、映画会などで交流している。毎年町主催の文化祭に入居者の作品を出品、見学に行き、地元の人と会えるのを楽しみにしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地元学生のボランティア受け入れを行なっているが、高齢者の暮らしに役立つ事についてはまだ取り組めていない。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム会議時に、職員全員に説明し、理解を深めている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族からの意見や要望、また、参加者からの率直な意見があり、職員間で話し合いサービスの向上に役立っている。</p>		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町へ出向き、質問や相談などを行いアドバイスをもらっている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員研修において学び、理解を深めている。町が発行している冊子など、身近に置き見られるようにしている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員研修において学び、職員の資質向上に努めているが、ホーム内で無意識に行なっていないが、常に職員間で確認しあっている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入・退去時に、本人、家族への説明を行い、理解・納得を得るとともに、相談などにはアドバイスをを行っている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付担当者を契約書及び重要書類に明示している。日常生活の中で入居者が意見や苦情を話せるように接し、引継帳にて周知のものとしているが、内容によっては、苦情報告書を作成し会議などで話し合うようにしている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、入居者の心身の状態及び生活の様子などを家族に報告書にて送付する他、家族の訪問時や健康状態に異変がみられた時に電話で報告・相談を行っている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の訪問時には職員が話をしながら、家族の意見が出しやすいように配慮している。また、運営推進会議で意見を出していただけるようにしている。</p>	<p>印 (取り組んで いきたい項 目)</p> <p>年1回家族が集まる日を設け、そこで意見や要望苦情などを出していただけるようにしたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のグループホーム会議や、各ユニットでの会議で職員の意見や提案が出せるようにしている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>家族が付き添えない場合の病院受診や行事に合わせた勤務体制、また、入居者の要望に応じた外出などに合わせ、職員の勤務時間を調整している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新職員採用時には、リーダー職員と共に勤務に就き、入居者の理解やコミュニケーションが図れるよう努めている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回の法人内での職員研修、外部での新人研修や認知症実践研修に職員の経験年数に応じて参加できるようにしている。また、職員は地域のケアステーション主催の勉強会に自主的に参加している。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町内の3グループホームで、2ヶ月に1回グループホーム会議を開き、情報交換、意見交換をおこなっている。また、入居者も交えての交流もしている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>併設施設と共に、歓送迎会、新年会、忘年会等、行っている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員には、年1回自己評価を行い、人事考課を導入している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>アセスメントシートにもとづき、事前面接を行っているが、本人が求めている事を聴き出すのは困難で、こちらからの訪問や、ホームへの見学の機会を作り、その中で思いを受け止めるようにしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接やホームへの訪問・見学などの際にご家族とよく話すようにしている。配偶者、ご子息など家族それぞれから、話を聴くようにしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>担当ケアマネからの情報も参考にし、併設特養の利用も含め、本人と家族が何を必要としているのか、見極めるようにしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にホームに訪問していただく機会を設け、お茶を飲みながら、入居者と共通の話題を見つけるようにしたり、入居に際して、試用期間を導入している。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者と共に過ごす中で、人生の先輩として作業知恵などを、学び、教えていただくという環境ができている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者の様子を文書で毎月お知らせする他に、問題がある時には、解決に向けて話し合うよう協力をえている。家族訪問時には、日頃の様子を伝え、今の入居者の状態を把握していただくように、努めている。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>家族の思い、入居者の気持ち、それぞれに耳を傾けながら、互いに良い距離(良い関係)でいられるよう配慮している。行事や、誕生会のお誘いは無理のない程度に、一緒に楽しい時間を過ごしていただけるよう声かけし、外出・外泊も家族の負担にならないよう配慮している。</p>	<p>家族と共に楽しい時間を過ごしていただくために、行事への家族参加を実施。花見、紅葉狩りなどボランティアをお願いしていたのを、参加したい家族とともに出かける。参加した家族は、「楽しい時間が持てた」と喜ばれた。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前まで利用していた美容院や、パン屋での買い物、自宅近くへのドライブ・喫茶店へ立ち寄るなど、支援している。又、入居者の中には、入居前に利用していた施設訪問の希望があり、職員と一緒に遊びに行く機会を設けている。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>衣食住を共にする中で、思いやりを持ち仲の良い関係ができている。新しい入居者に対しては、職員が間に入り共通の話題などで関わりが持てるように努めている。介護を多く必要とする方に対しても、他の入居者が声をかける場面がみられている。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>病院へ入院後、退去となられた方の様子を伺いに行ったり、併設施設へ入所された方への面会など、地域的なこともあり、挨拶ができるようにしている。退去後、不幸にして亡くなられた方の通夜、告別式には、可能な限り職員は出席している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話や何気ない一言の中から、入居者の思いをくみ取るよう努め、職員同士で話し合い、小さなことからでも、実現できるよう努めている。本人の意向が聴けない場合でも、家族に聞きながら、検討している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時のアセスメントにて、本人及び家族より伺ったうえで、日常の会話の中で得た、生活歴や生活環境などの情報は職員同士で共有している。また入居前に受けていたサービス担当者や、ケアマネージャーから、情報を得ている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日常生活動作記録及び、引継ぎ帳、口頭により職員全員が入居者の状態を把握するように努めている。また、パソコン内のケース記録等がいつでも見られるようにしている。</p>	<p>入居者の心身状態の低下に伴い、出来る事、できない事をも見極め、新職員と共に検討したい。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランには、本人・家族の希望や意見を取り入れ、職員の意見も聞きながら作成しているが、家族の中には現状のままで良いという意見があり、入居者からも希望などを聞き出すことが、難しく感じられる場合がある。</p>	<p>入居者が元気になるような、楽しい目標となるような、プランを考えていきたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに見直しを行い、入居者の身体状況が変化してきた場合は、担当職員、家族と話し合い新たな計画を作成している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活動作記録を元に、入居者の個人記録に記入している。また、ケース記録は毎日記入している引継ぎ帳には、入居者についての伝達事項を記入し情報の共有に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の希望で、入居者と共に居室に宿泊する事は可能である。また、急な外出・外泊希望にも対応している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・習字教室、朗読ボランティア、外出ボランティア ・併設特養、介護実習生の受入れ、民生委員の訪問 ・町の文化展・書道展への入居者の作品出品 ・消防署の指導による、消防訓練(年2回)などがある		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	神河町運営推進協議会、グループホーム連絡会等で他事業所、行政などのサービスを把握し、交流を深めている。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入居者の困難事例など、地域包括支援センターに出向き、相談、アドバイスをいただいている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認し、受診を継続しているが、緊急時は本人、家族の同意を得てホームの協力医院に受診していただいている。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関としての病院があり、入居者は家族と共に認知症について、受診・相談をされている。また、職員も同行し、相談する事もある。近隣に認知症に理解のある歯科医院があり、入居者の多くは利用されている。</p>	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>併設施設の看護師に処置の仕方や緊急時の対応について、また、日常の健康管理についてアドバイスをもらっている。</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入居者が入院した場合、面会などで常に病状を把握し、必要時には、ケースワーカーやケアワーカーより情報を収集し、退院時に備えている。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の中には、高齢の為、終末期について本人や、家族から意向を聞いている方もあり、職員間で確認し合っている。また、重度になられた入居者についてもこれまで、家族とその都度話し合いながら対応してきたが、新しく入居された方については、まだ話し合いができていない</p>	<p>新しい入居者については、ある程度ホームでの生活に慣れた後に、話し合いを持ちたい</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ある高齢の重度者については、入院中家族と良く話し合い、退院後ホームを退去、特養や、デイサービス利用も考えながら、家で家族が介護され、最期を看取られた。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>入院後、ホームを退去され、自宅に戻られた入居者に対しては、その家族の自宅での介護について、何度も話し合い、ケアマネージャーや併設施設相談員のアドバイスなどで、ダメージなく移る事ができた。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>入居者個々の身体能力に応じた支援を行ないながら、プライバシーに配慮し、誇りを傷つけるような対応がないよう気をつけている。個人記録などは、外部の人や入居者の目に触れないよう保管し、職員は採用時、守秘義務についての誓約書を提出している。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>外出希望の多い入居者には、職員の買物日に声をかけ一緒に行けるよう配慮したり、入居者に合わせてわかりやすく説明し、自分で納得して決める事ができるような言葉かけを行なうよう努めている。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>日々の生活の中で、積極的に希望を表わすことのできる入居者に対しては支援ができていますが、表しにくい入居者に対しては、会話の中で、こちらから探っている状態である。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>家族が、面会時に髪をカットしそれを楽しみにされている入居者、また入居前の行き着けの美容院を利用し、お店の人との会話を楽しみにしている入居者がいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節感のある献立を工夫したり、希望の献立を取り入れたりし、楽しい食事ができるようにしている。食事作りや片付けは、できる力に合わせ入居者と職員が一緒に行なっている。また入居者が自分の役割として食器を洗ったり、お膳を拭くようになっている。</p>	<p>新しい入居者が入る事により、食事作りに活気が出、今まで消極的であった入居者がキッチンに足を運ぶようになったことから、今後は、より賑やかに食事作りをしていきたい。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>午前・午後のお茶の時間に希望を聞き飲めるようにしている他、食後や夜間、入浴後などに飲んでいただいている。おやつは午後に出しているが、家族からの差し入れなどは入居者が自分で食べられるようにしている。祭りなどで、希望があればお酒も楽しめるようにしている。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居者により、排泄チェックなど行い個々の排泄パターンを把握し、トイレへの声かけ支援を行なっている。排泄後は場合によって、温かいタオルで清拭をしていただき、清潔保持にも努めている。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日、午後2時から4時過ぎの間が入浴時間となり入居者は大体一日おきに入浴されている。体調が悪く入浴ができない時には、希望で足浴を行なっている。毎日入浴したい入居者には、できるだけ入っていただけるよう配慮している。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>午後の昼寝や、夜間眠れなかった入居者は無理に起こさずゆっくり眠れるよう配慮している。室温や寝具の調整、夜間の照明は一人ひとりの生活習慣に応じ、また、コタツや電気毛布など希望に応じている。リネンの洗濯や布団干しをし安眠できるよう配慮している。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の中には、炊事、洗濯、掃除の手伝いを自分の身体のためと思い積極的に行われている人もいる。また、膝が悪く立位が困難でも、椅子やワゴンを活用しながら自分の出来る事を行なってもらっている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1名の入居者は、希望により自分の小遣いをもちホームで管理しながら、外出時や買い物時に使えるようにしている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設施設への訪問や、外気浴、散歩などは、天気の良い日に行っている。入居者の中に、ホームに入居前の施設への訪問希望があり、職員と一緒に出かけることもあるが、業務の都合上無理なこともある。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族訪問時、知人宅へ一緒に出かけたり、娘さんと一緒に買い物に出たりされている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の希望があれば、家族や知人に電話ができるよう支援している。年賀状などを出す事も話題になるが、出すに至らないのが現状である。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に、訪問の時間帯を決めず、いつでも訪問できるようにしている。訪問者は、居室のほかりビングの畳スペースで、昼食を共にされたり子供連れで訪問され入居者が喜ばれたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	宝寿会全体で、身体拘束をしない方針である。職員研修でも取り上げて話し合っているが、日常で危険と思われる時など、言葉かけに気をつけ、職員は絶えず頭に入れ認識しながら、ケアに取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は、居室・リビングの掃き出し窓の鍵は開放し自由に出入りできるようにしている。玄関は、安全の為内から外へは暗証番号にて出られるようになっている。玄関内戸に取り付けられた鍵においては、入居者の不穩時の対応の為止むを得ず取り付けたが、現在は使用していない。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員全員が入居者の所在確認をし、居室で休まれて入る時もプライバシーに配慮しながら、様子確認をしている。夜間においても、巡回にて様子確認し入居者の安全に努めている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>自己管理のできる入居者には、自分で管理してもらっているが、それでも、剃刀などは使用目的を聞き本人と相談し、代わりの物にしている。針箱・爪きり・はさみなど持たれている場合は、居室の置き場所など職員が把握している。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>法人内の研修に参加し、職員内で話し合いを行なっている。事故が起こった場合は、事故報告書を作成し事故防止検討会で、対応について話し合っている。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>応急手当のマニュアルを設置し、職員研修で応急処置の訓練を行なっている。</p>	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>併設施設と合同で年2回、消防署の指導のもと、昼間・夜間想定し消防訓練、避難訓練を実施している。平成21年4月より、毎月1回、ホームの防災設備点検を職員で行なっている。運営推進会議では、地域の方に協力をお願いしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>家族への月間報告の中で日頃の様子をお知らせし、家族訪問時に、起こりうるリスクについて話し合い、どのように対応したら良いか、望まれるかを話し合うようにしている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>朝と夜勤者へは口頭で引継ぎを行い、引継ぎ帳でも情報を共有している。毎日定時のバイタルチェックにおいて、また入浴時やその他、身体の異変に気付いた時は、他職員と一緒に確認し速やかに対応するように努めている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに薬の処方箋を添付し、いつでも確認できるようにしている。新しく薬が増えたり、内容が変わった場合は、職員間で確認しあっている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>献立に野菜を多く取り入れるよう工夫し、朝食にヨーグルトをつけるなど工夫し、水分摂取量をチェックしている。朝のラジオ体操やりハビリ体操など行っている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後のうがい、歯磨きは、入居者の状態に応じて声かけ、見守り、一部介助しながら清潔保持に努めている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量を、記入し一日の摂取量を確認している。食が進まない時は、果物や口当たりの良いものを食べていただくよう、配慮している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	日常生活においては、一行為一手洗いの励行。ペーパータオル、使い捨て手袋を使用している。夜勤者により、手すり、ドアの引き手、椅子、テーブル、ソファ、トイレの便座の消毒を行なっている。感染対策委員会を設置し、併設施設と共に会議を行い、職員に伝達している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材は1日おきに鮮度、賞味期限を確認し購入している。 ・食器・調理器具は乾燥機にて乾燥・食洗機・ポットなどは専用の洗浄剤で洗浄 ・冷蔵庫内・乾物庫内は、週1回程度整理、消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は安全性を重視し、手すり、スロープを設置している。ホームへの案内板は、国道に掲示し、ホームと併設施設との区別がされた表示が立てられている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは外からの光が自然な状態で入り、コタツ、畳スペース、ソファと、思い思いの場所できつるような作りである。花や壁の装飾は季節感を感じられるように工夫し、蓄音機でレコードをかけることもある。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、畳スペース、テーブルなど、思い思いに過ごせるよう工夫している。寒い時期には、掘りコタツがある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や好みの物をと、家族に理解いただくよう説明しているが、室内での安全などもあり、家具が少ないように思われる。	
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、掃除の時間に窓を開け、換気に努めている冷暖房は、夏冷めすぎないよう、冬上げすぎないよう、温度計を見ながら調節を行い、加湿器使用している。フィルター洗浄を年2回、行なう事により快適に過ごせるよう配慮している。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の手すりにて安全な歩行ができるよう配慮している。床はクッションフロアで転倒時衝撃が少ないよう配慮され、バリアフリーとなっている。トイレは4ヶ所設置され、居室からすぐ行けるようになっている。	
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者一人ひとりの訴えに耳を傾け、その人に応じた対応を心掛けている。わかりにくい入居者には居室やトイレに大きめの字で表示している。	
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム前の畑には、季節の野菜を植え、中庭に椎茸栽培をして入居者が、採りに行けるようにしている。花壇には、その時々で色々な物を植え入居者と楽しんでいる。ベンチを活用し外気浴を行いながら過ごせるようにしている。	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)